

歩行者の場合

反射材をつけていないとき



反射材をつけたとき



よく見え
ないから **反射材** よく
見えるに！
貼付で

自転車の場合

反射材をつけていないとき



反射材をつけたとき



反射材
いろいろ



反射材を身につける！

《夜、車の運転者から歩行者が見える距離》



交通事故に遭わないために…

●明るい場所を選んで歩く！

ドライバーからいち早く発見してもらうため、明るい場所を明るい色の服装で歩きましょう。

●横断歩道など安全な場所を渡る！

横断歩道や信号等安全施設が近くにあれば、少し遠回りになっても安全施設から渡りましょう。

安全施設が近くになれば、出来るだけ明るい場所を選んで渡りましょう。

●夜間の交差点は要注意！

車の照射範囲は意外に狭く、特に右折時は右側方、左折時は左側方にいる歩行者や自転車は、車のドライバーから見落とされやすい・・・という危険があります。夜間はライトと反射材の活用、明るい目立つ色の服装が交通安全のキーポイントです。

